

# 産経新聞

平成26年(2014)日刊25611号

4|4[金]



産業経済新聞(サンケイ)  
THE SANKEI SHIMBUN  
発行所 ©産業経済新聞東京本社2014  
〒100-8077東京都千代田区大学町1-7-2  
☎東京(03)3231-7111 (大代表)

看護師へ向けて歩み出した戸田中央看護専門学校の新入生たち  
3日、戸田市上戸田の同市文化会館



## 「福島役に立ちたい」

### 戸田中央看護専門学校で入学式

戸田中央看護専門学校(戸田市本町)の入学式が3日、同市文化会館で行われた。新入生の中には、東京電力福島第1原発事故の影響で、福島県双葉町から県内に避難してきた学生の姿も。初々しくも決意に満ちた123人が、看護師を目指して学生生活をスタートさせた。

(佐藤祐介)

式では中村毅校長が「自分の無力さを感じることもあるだろうが、互いを励まし合って困難を乗り越えてほしい」と激励。新入生代表の吉原愛美さん(18)は「いつも笑顔で、患者さんに寄り添う看護師になることを誓います」と決意を述べた。

新入生の一人で福島県双葉町出身の大石真子さん(18)は、同町立双葉中学校を卒業した日に東日本大震災が発生し、家族とともに埼玉県内に避難してきた。



入学式を終えた大石真子さん

### 看護専門学校

### 原発事故で双葉町から避難 大石さんも決意新た

に住み、同専門学校に通う。旧騎西高校に避難中は、複数の家族が一つの教室に暮らす生活を強いられた。「プライバシーがなく、将来への不安でいっぱいだった」という。

一方で、同じ境遇の下で同校に身を寄せた人々に支えられたのも事実。いつしか「お世話になったみんなの役に立つ仕事がいい」と思うようになった。「震災では死ぬかもしれないという思いや不自由な体験をたくさんした。自分にしかない経験が、患者のつらさを少しでも理解することになるかもしれない」と看護師を志した。

入学式には両親と選んだという真新しいスーツ姿で臨んだ大石さん。「いつか看護師として福島の役に立つために、一日一日を大切にしながら学びたい」。静かに、力強く話した。